

マルチ・キーテレホンR



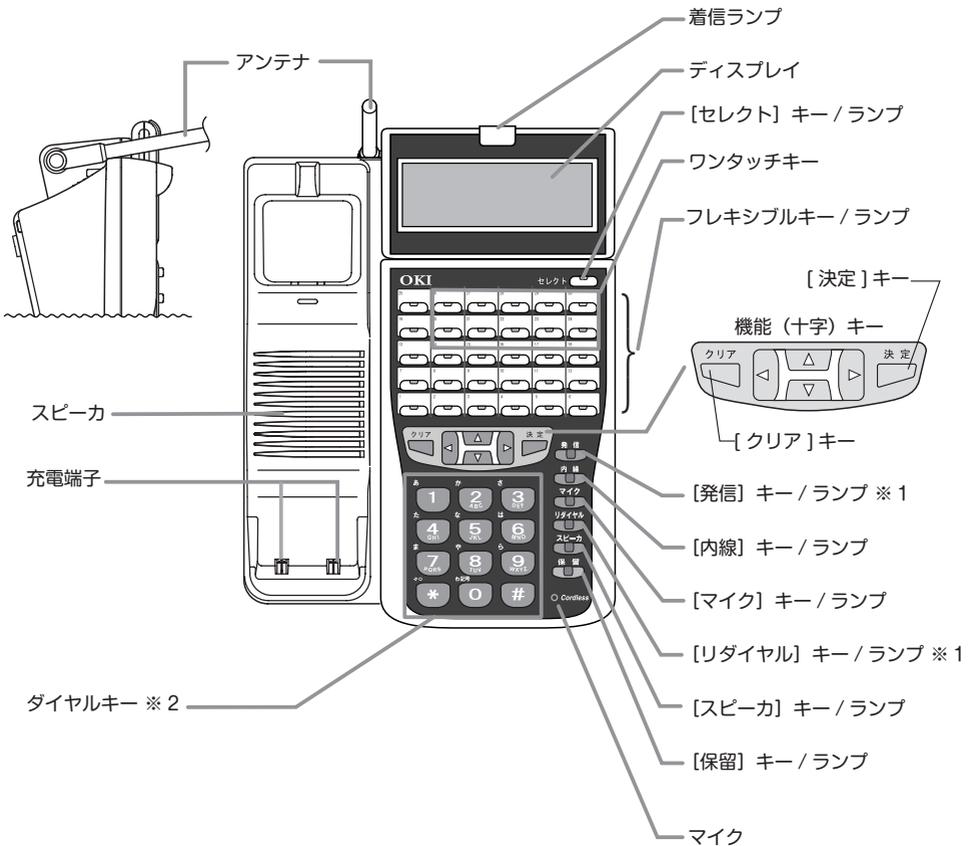
簡易操作マニュアル（保証書添付）

- このたびはマルチ・キーテレホンRをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- ご使用になる前に、この簡易操作マニュアルをよくお読みになり正しくお使いください。

目次

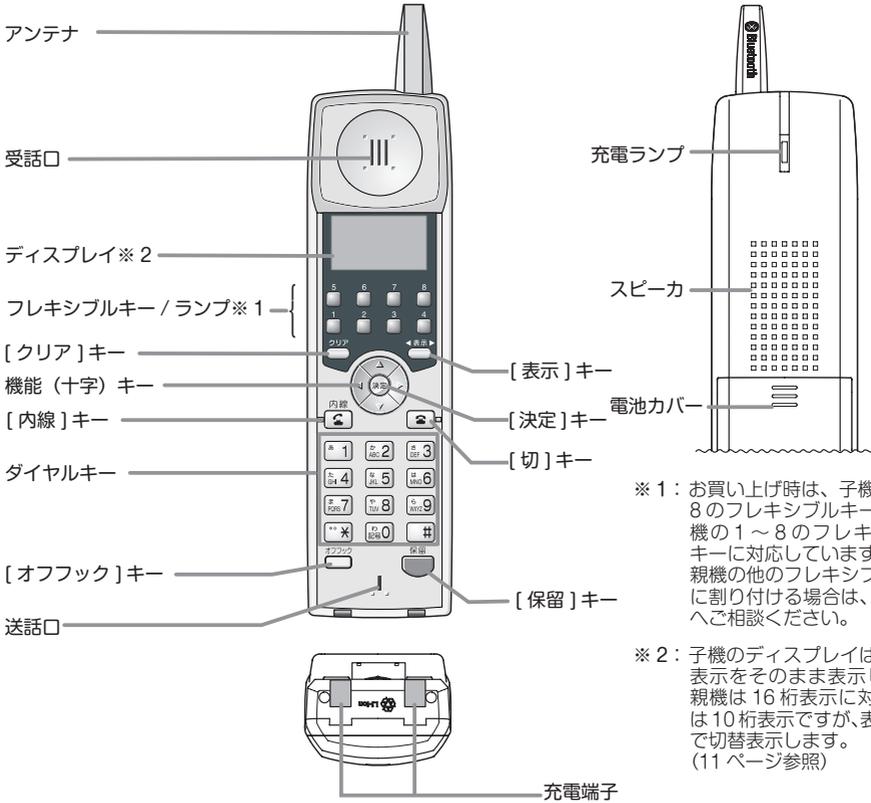
各部の名称	1	電話機のディスプレイ表示	11
添付品	2	圏外アラーム音を停止する	12
安全上のご注意	3	親機を確認する	12
無線に関するご注意	4	電話をかける	13
電話機の調整	5	電話を受ける	13
使用上のご注意	7	電話を転送する	13
電池パック回収のお願い	8	その他の電話機の主な機能	14
着信音量を調節する	9	仕様	14
受話音量を調節する	10	保証書	14
バックライトの色を選択する	10	お問い合わせになる前に	15
ディスプレイの濃度を調節する	11	お問い合わせ窓口	15
バックライトタイマを調節する	11		

各部の名称（親機）



- ※ 1：[発信] キーと [リダイヤル] キーは、フレキシブルキーとして設定されることがあります。
- ※ 2：ダイヤルキーの斜め上に記載されている「あ」「か」などの小さな文字は、ダイヤルキーで文字を入力するときに、各キーに割り当てられている文字（「あ行」「か行」…）を表しています。

各部の名称 (子機)

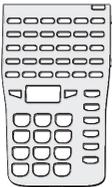


※1: お買い上げ時は、子機の1～8のフレキシブルキーは、親機の1～8のフレキシブルキーに対応しています。親機以外のフレキシブルキーに割り付ける場合は、取扱店へご相談ください。

※2: 子機のディスプレイは親機の表示をそのまま表示します。親機は16桁表示に対し子機は10桁表示ですが、表示キーで切替表示します。(11ページ参照)

添付品

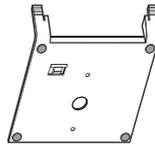
ファンクションカバー
1枚



ファンクションカード
1枚



チルト台
1個



電話機の表面に付いています。電話機の角度を変えたり、壁に掛けて使用する場合、取り外して使用します。

簡易操作マニュアル(本書)
1冊



本書に保証書を含みます。

電池カバー
1個



リチウムイオン電池パック
(BP3711L-A)



電波に関するご注意
1枚



安全上のご注意

— ご使用の前に必ずお読みください —

この「安全上のご注意」には、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。

本装置をご使用前に、本文をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

 危険	次の項目を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
● 電池パックはプラス ⊕ ・ マイナス ⊖ の向きが決められています。電話機に接続するときは、プラス ⊕ ・ マイナス ⊖ の向きを確かめてください。火災・感電・やけど・けがの原因となります。	
● 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。	
● 電池パックは、指定の電話機以外には 使用しないでください。火災・感電・やけど・けがの原因となります。	
● 電池パックを分解・改造しないでください。火災・感電・やけど・けがの原因となります	
● 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・火の中に投入したり、加熱しない。また、直接はんだ付けしない。・プラス ⊕ ・ マイナス ⊖ を針金などの金属類で接触させない。・水・雨水・海水・薬品などにつけたり、ぬらさない。・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。・針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない。	
● 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。	

 警告	次の項目を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
● AC アダプタ (別売) の電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。	
● 電話機コードを電源コンセントには接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	
● 開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。	
● 本装置を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	
● 本装置の上や近くに花瓶、コップ、化粧品、薬品、植木鉢など、液体の入った容器または、小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。	
● 内部の点検・修理は、取扱店に依頼してください。	
● 心臓ペースメーカの装着部位から 22cm 以上離してください。電波によりペースメーカの動作に影響を与える場合があります。	
● 付近に電波の影響を受ける医用電気機器がある場合、その医用電気機器の条件を確認のうえ設置場所、持込区域を決めてください。また、医療機関が個々に使用禁止、持込禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。	
● 子機が圏外付近になったとき、子機／親機ともに電波出力が最大となります。電波の最大出力は 100mW 以下ですので、医療機関への設置の際には、このことに注意して使用範囲を決めてください。	

 注意	次の項目を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
● AC アダプタ (別売) の電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災・感電・断線の原因となることがあります。	
● AC アダプタ (別売) の電源プラグを電話機から抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき、火災・感電・断線の原因となることがあります。	
● 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所および、ちり、ほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。	
● 直射日光の当たる所や、湿度の高い所には置かないでください。内部の温度が上がり、火災・故障の原因となることがあります。	
● 水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。内部に入ると、火災・故障の原因となることがあります。	
● 壁掛け用に取り付ける場合は、重みにより本装置が落下しないよう、専用の取付器具を使用し、指定の方法で取り付けてください。落下すると、けがの原因となることがあります。	

安全上のご注意

ご使用にあたってのお願い

- 停電などの外的要因、あるいは本装置の故障、誤動作、不具合によって通信などの機会を逸したために生じた逸失利益等の金銭的損害につきましては、当社はその責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置を人命や、危害に直接的または、間接的に高い安全性が必要とされる環境下では使用しないでください。
- 本装置を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本装置に登録された内容は故障・修理のときに消失する場合があります。

設置にあたって

- 放送局の近くや違法C/B無線など、強い電波を受ける場所では通話中に雑音が入ることがあります。通話に支障をきたす場合には、取扱店にご相談ください。
- テレビ、ラジオ、無線機、電子レンジ、インバータ形蛍光灯などの磁気、電波を発生する場所や違法無線を受ける場所に設置した場合、ノイズや誤動作を引き起こすことがあります。

取り扱い上のご注意

- 落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。
- 本装置に接続されているモジュラープラグで差し込まれている電話機コードを強く引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 本装置を清掃するときは、揮発性のあるシンナーやアルコールおよびシリコン系クリーナーなどの使用は絶対にさけてください、変色、変形の原因になることがあります。水を含んだ布をかたく絞って拭いた後、柔らかい布でからぶきしてください。

無線に関するご注意

- ① カールコードレス電話機は以下の技術により、傍受されにくくなっておりますが、電波を使用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合があったくないとは言えません。この点について十分配慮してご使用ください。
機密が必要な通話は、他の電話機のいずれかをご使用することをおすすめします。
親機と子機間の通信は、デジタル信号処理の無線を使用しています。
- ② 移動しながら使用するとき、位置や向きによって雑音が入ることがあります。
- ③ カールコードレス電話機は、通常半径 80 m（見通し距離）以内でご使用できますが、親機と子機間に下記の障害物などがあると、通話中に雑音が入ったり、子機に「圏外」と表示され使えなくなることがあります。このため、設置環境を確認のうえ、親機の設置場所を決めてください。
 - 金属製のドア
 - アルミはく入りの断熱材が入っている壁
 - コンクリートやトタン製の壁
- ④ 同一室内で無線LAN、電子レンジなどを使用している場合、通話中に雑音が入ることがあります。
- ⑤ 親機は主装置から 5 m 以上、他の電話機から 2 m 以上、他の親機から 3 m 以上離して設置してください。通話中に雑音が入ることがあります。
- ⑥ カールコードレス電話機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は 80 m です。この機器（親機、子機ともに）には、それを示す右記のマークが貼付されています。
- ⑦ 同一室内で Bluetooth 機器を 16 台以上同時に使用した場合、Bluetooth 機器の動作に影響が出る場合があります。

2.4 F H 8

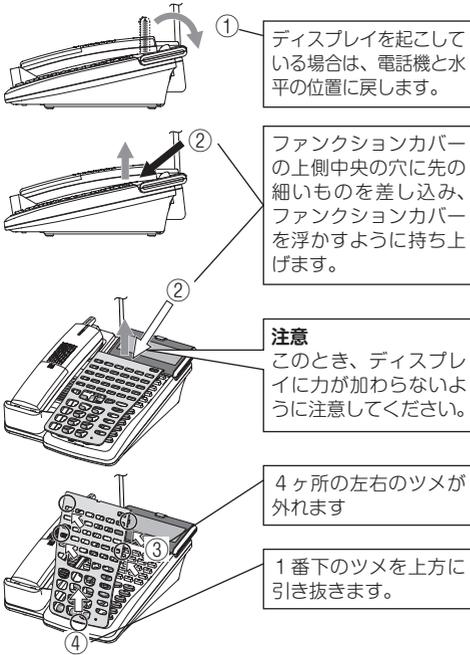
● 電波に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

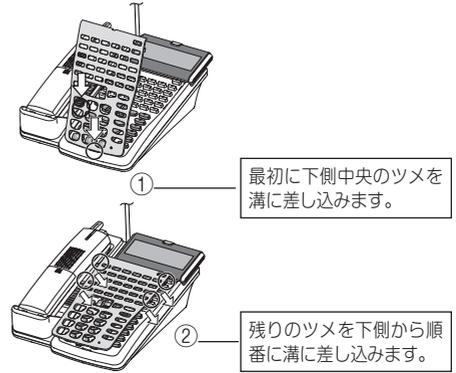
- ・ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにこの機器の電波の発射を停止した上で（親機に接続されている電話機コードを引き抜き、子機の電池パックを取り外します）、お買い上げの取扱店にご連絡頂き、混線回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- ・ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの取扱店へお問い合わせください。
- ・ 子機が圏外付近になった時、子機 / 親機ともに電波出力が最大となります。設置の際にはこのことに注意して使用範囲を決めてください。

電話機の調整

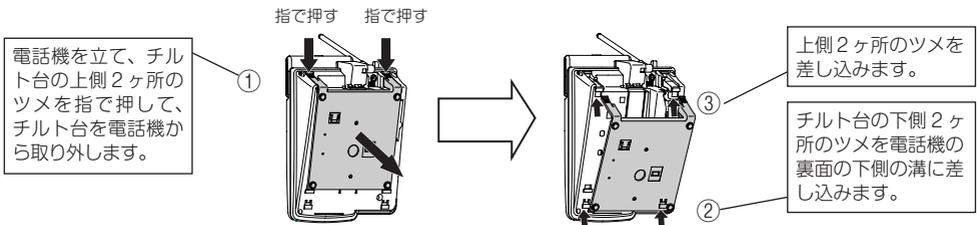
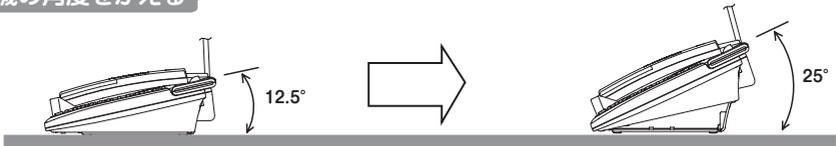
ファンクションカバーの外し方



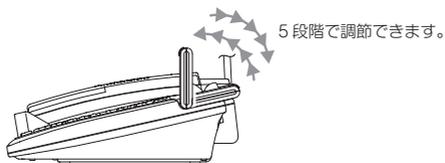
ファンクションカバーの取り付け方



電話機の角度をかえる



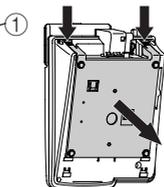
ディスプレイの角度をかえる



ディスプレイの上側を持ってゆっくりと動かします。カチッと音がするところで止めます(5段階)。力を入れすぎないように注意してください。

アンテナの立て方

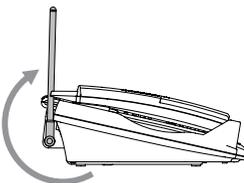
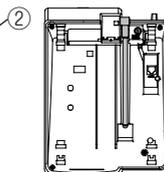
① 電話機を立て、チルト台の上側2ヶ所のツメを指で押して、チルト台を電話機から取り外します。



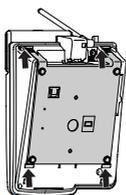
② アンテナの先端をゆっくりと止める位置まで持ち上げながら調整します。

注意

無理に持ち上げると破損する恐れがあります。



③ チルト台の下側2ヶ所のツメを元の溝に差し込みます。



④ チルト台の2ヶ所のツメを指で押して、チルト台を元の位置に戻します。

使用上のご注意

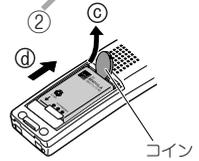
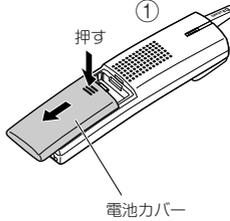
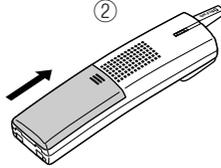
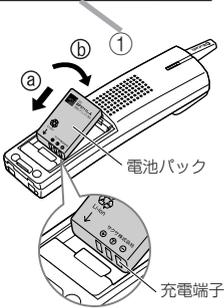
電池パックの取り付け方

電池パックのラベル面を上にして、① 方向に差し込みながら、② 方向にはめ込みます。
・子機と電池パックの充電端子が接触します。

「カチッ」音がするまで、電池カバーを押し込みます。

電池カバーを押しながらスライドさせて、電池カバーを取り外します。

電池パックを ③ 方向にコインで持ち上げながら、④ 方向に取り外します。



充電のしかたと電池残量

■充電のしかた

子機の充電は、次のようになります。

- ① 子機はお買い上げ時、電池パックが接続されておりません。お使いになる前に電池パックを接続してください。
- ② はじめてお使いになるとき、子機は約8時間以上充電してください。



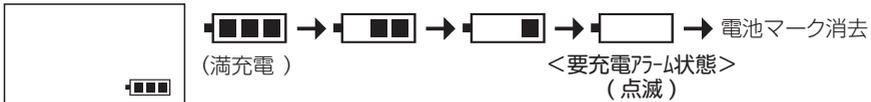
- 子機を充電する場合には、ダイヤル面を裏にして親機に置いてください。
- 子機が充電されているときの確認方法は、子機の充電ランプが赤点灯します。満充電時は、緑点灯します。
- 子機を親機に置いて、子機の充電ランプが赤、緑にゆっくり点滅する場合には、電池パックの不良(劣化など)が考えられます。電池パック(BP3711L-A)を交換して確認してください。
- 子機を使用しないときは、親機に置いてください。
- 満充電時の使用時間は、次のとおりです。

	連続通話時間	連続待受時間※1
子機	約5時間	約100時間

※1：電源が入った状態で、通話をしないで親機の電波だけを正常に受信できる平均的な時間です。

■電池残量

子機の表示部に電池残容量を下図の4段階表示しますので、充電の目安としてお使いください。

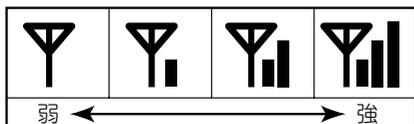


- ① 要充電アラーム状態のときは、約30秒ごとに要充電アラーム音「ブーブ」が鳴ります。
- ② 電池残量が少なくなると、通常使用状態になるまで充電をします。
 - ・要充電アラーム音が鳴ってから充電すると、約8時間で満充電状態になります。
 - ・通話中に要充電アラーム音が鳴り始めると、約60秒で通話が切れます。
 - ・電池パックを取り外した状態で子機を親機に置かないでください。
 - ・要充電アラーム状態のまま充電せずに放置すると、使用不可の状態となりますが、故障ではありません。子機を親機に置いて充電してください。この場合、子機の充電ランプがすぐに赤点灯しない場合がありますが、故障ではありません。(約10～20分後に充電ランプが赤点灯します)

電波の強さ

子機は、親機からの電波状態を4段階で表します。

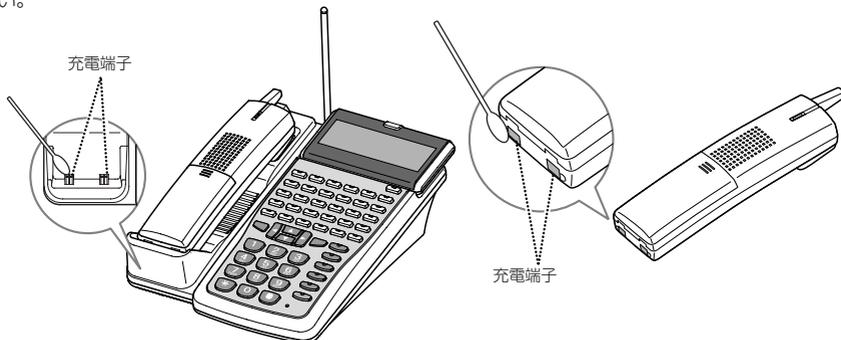
●電話をかける前に電波の強さを確認してください。



強	受信状態が良好です。
弱	電話がかかりにくくなったり通話が切れることがあります。 (電波状態の良い場所へ移動してください) 電話をかけることも受けることもできません。
圏外	・ 圏外に近づくと、アラーム音「ビピ……」が鳴ります。 圏外になると、圏外ビクトが点灯し、通話が切れます。

充電端子のお手入れ

- ①子機、親機の充電端子（金属部分）は、いつもきれいに保つようしてください。
- ②端子が汚れていると充電できなくなることがありますので、月1回以上、乾いた綿棒で清掃してください。
 - ・シンナー、ベンジンなどを使用すると表面を傷めたり、変色したりすることがありますので使用しないでください。



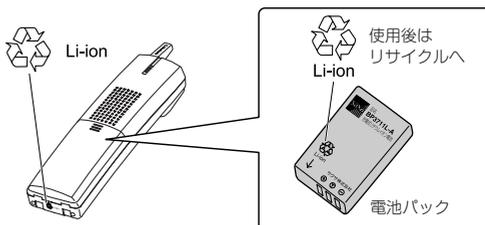
電池パックの交換について

子機の電池パックは、消耗品です。満充電しても、続けて通話できる時間が極端に短くなった場合は、新しい電池パック（型名：BP3711L-A）をお買い求めの上交換してください。

- ・電池の購入については、お買い上げになった取扱店または15ページの「お問い合わせ窓口」の営業へご相談ください。
- ・電池パックの抜き差しを行うと、子機は一時的に  が表示されますが故障ではありません。

電池パック回収のお願い

子機の電池パック（型名：BP3711L-A）はリサイクル可能な貴重な資源です。電池交換などで使用済みの電池パックを廃棄するときは、お買い上げになった取扱店またはお近くのリチウムイオン電池リサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル推進にご協力をお願いいたします。



着信音量を調節する

電話がかかってきたときに鳴る音（着信音）の大きさを調節することができます。

（親機）

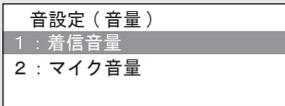
- 1** 待受状態のとき、 を押します
端末設定メニューが表示されます。

- 2** 「1：音設定（音量）」を ・ で選び、 を押します



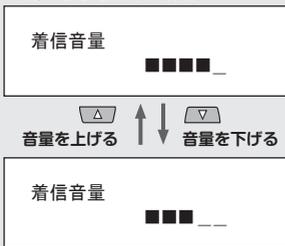
音量設定メニューが表示されます。

- 3** 「1：着信音量」を ・ で選び、 を押します



着信音量を調節する画面が表示されます。

- 4** 着信音量を調節します
 ・ を押すごとに、着信音量が1段階ずつ変わります。（5段階）



- 5** を押します
着信音量が設定されます。

（子機）

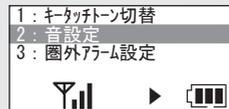
- 1** 子機の を長押しします
約2秒後にピッと鳴ります。

- 2** 「1：データ設定」を ・ で選び、 を押します



音設定メニューが表示されます。

- 3** 「2：音設定」を ・ で選び、 を押します



着信音量メニューが表示されます。

- 4** 「1：着信音量」を ・ で選び、 を押します



着信音量を調節する画面が表示されます。

- 5** ・ で選び、着信音量が1段階ずつ変わります（3段階）



- 6** を押します
着信音量が設定されます。

※ 着信音量は、着信音が鳴っているときに ・ （子機の場合は ・ ）を押すことによっても変更できます。

※ メニューの項目を選択するには、以下の2通りの方法があります。

- ・ 選択する項目に、 ・ （子機の場合は ・ ）でカーソルを移動し、（子機の場合は ）を押す。
- ・ 選択する項目の左に表示されている数字を、ダイヤルキーで押す。

受話音量を調節する（子機）

受話器から聞こえる音の大きさを調節することができます。

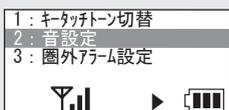
1 子機の を長押しします
約2秒後にピッと鳴ります。

2 「1：データ設定」を ・ で選び、 を押します



音設定メニューが表示されます。

3 「2：音設定」を ・ で選び、 を押します



受話音量メニューが表示されます。

4 「2：受話音量」を ・ で選び、 を押します



受話音量を調節する画面が表示されます。

5 ・ で選び、受話音量が1段階ずつ変わります（3段階）



6 を押します
受話音量が設定されます。

※ 受話音量は、通話中に ・ を押すことによっても変更できます。

※ メニューの項目を選択するには、以下の2通りの方法があります。

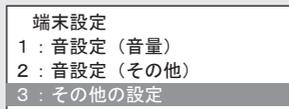
- ・ 選択する項目に、 ・ でカーソルを移動し、 を押す。
- ・ 選択する項目の左に表示されている数字を、ダイヤルキーで押す

バックライトの色を選択する（親機）

ディスプレイのバックライトの色を、グリーンとオレンジのどちらかに設定することができます。

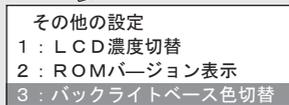
1 待受状態のとき、 を押します
端末設定メニューが表示されます。

2 「3：その他の設定」を ・ で選び、 を押します



その他の設定メニューが表示されます。

3 「3：バックライトベース色切替」を ・ で選び、 を押します



※メニューの下のほうの項目は、 を押してカーソルを移動させると表示できます。

バックライトベース色を選択する画面が表示されます。

4 バックライトベースの色を ・ で選び、 を押します



バックライトベースの色が設定されます。

ディスプレイの濃度を調節する（親機）

ディスプレイに表示される文字を濃くしたり、薄くしたりすることができます。

- 1 待受状態のとき、**△** を押し
端末設定メニューが表示されます。

- 2 「3：その他の設定」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し

端末設定
1：音設定（音量）
2：音設定（その他）
3：その他の設定

その他の設定メニューが表示されます。

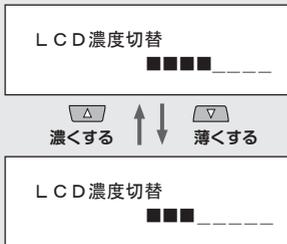
- 3 「1：LCD濃度切替」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し

その他の設定
1：LCD濃度切替
2：ROMバージョン表示
3：バックライトベース色切替

LCD 濃度を調節する画面が表示されます。

- 4 LCD 濃度を調節します

△・**▽** を押すごとに、濃度が1段階ずつ変わります。（8段階）



- 5 **決定** を押し
LCD 濃度が設定されます。

バックライトタイマを調節する（親機）

ディスプレイのバックライトが点灯してから、消灯するまでの時間を変更することができます。

- 1 待受状態のとき、**△** を押し
端末設定メニューが表示されます。

- 2 「3：その他の設定」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し

端末設定
1：音設定（音量）
2：音設定（その他）
3：その他の設定

その他の設定メニューが表示されます。

- 3 「4：バックライトタイマ切替」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し

その他の設定
2：ROMバージョン表示
3：バックライトベース色切替
4：バックライトタイマ切替

※メニューの下のほうの項目は、**▽** を押してカーソルを移動させると表示できます。

バックライトタイマを調節する画面が表示されます。

- 4 バックライトタイマの設定値を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し

バックライトタイマ切替
1：無操作 5秒保持
2：無操作 10秒保持
3：無操作 30秒保持
4：即時消灯
5：常時消灯
6：常時点灯

※点線部分の項目は **▽** を押してカーソルを移動させると表示できます。

バックライトタイマが選んだ値に設定されます。

電話機のディスプレイ表示

親機・子機のディスプレイ表示例です。

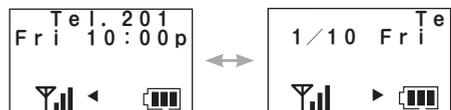
（親機）

1/10 Fri 10:00p
Tel. 201

（子機）

親機ディスプレイ表示の右側部または左側部を表示します。**表示** を押すことにより左側表示、右側表示を交互に切り替えます。

・見やすい表示で、ご使用ください。



※親機の右側表示

※親機の左側表示

圏外アラーム音を停止する(子機)

子機の圏外アラーム音を停止することができます。

1 子機の を長押しします

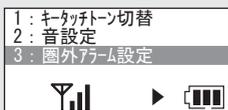
約2秒後にピッと鳴ります。

2 「1: データ設定」を ・ で選び、 を押します



圏外アラーム設定メニューが表示されます。

3 「3: 圏外アラーム設定」を ・ で選び、 を押します



圏外アラーム音を設定する画面が表示されます。

4 「0: 鳴動しない」を ・ で選び、 を押します



受信音「ピッピッ」が鳴ります。

※メニューの項目を選択するには、以下の2通りの方法があります。

- ・ 選択する項目に、・ でカーソルを移動し、 を押す。
- ・ 選択する項目の左に表示されている数字を、ダイヤルキーで押す

その他の注意事項

- ・ 子機でメインメニュー操作中にフレキシブルキー、、 のいずれかを操作した場合は、 を押して最初からやり直してください。
- ・ フレキシブルキーへの機能割付けを子機から実施することはできません。親機で操作してください。
- ・ 子機を親機からはずした状態で未使用中に、子機に機能割り付けされていないフレキシブルキーを押した場合、「ツーツー」と発信音が聞こえる状態になります。
- ・ 子機を親機からはずした状態で未使用中に、子機の内線キーを押した時は、一瞬親機がスピーカ受話状態になります。
- ・ 親機 / 子機間は無線で通信しているため、子機の表示は親機に比べて1秒程度の遅延があります。

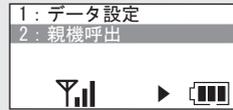
親機を確認する(子機)

子機から子機に対応する親機を呼び出すことができます。

1 子機の を長押しします

約2秒後にピッと鳴ります。

2 「2: 親機呼出」を ・ で選び、 を押します



親機呼出メニューが表示されます。

3 「1: 呼出する」を ・ で選び、 を押します



対応する親機を呼び出します。親機の[クリア]キーを押すか、または、子機を親機に置くことにより呼出音が止まります。

※親機または子機で、電話をかける／受ける／転送の方法は、システム設定によって、操作が異なる場合があります。

電話をかける

外線にかける

- 1 子機を上げます
- 2 ランプが点灯していない外線キーを押します。



※使用中の外線キーのランプは赤点灯しています。使用されていない外線をご利用ください。

ランプが緑色になります。

- 3 相手の電話番号をダイヤルします
- 4 相手が応答したらお話しします

※ 外線キーは、フレキシブルキーに割り当てられています。

内線にかける

- 1 子機を上げます
- 2 相手の内線番号をダイヤルします
- 3 相手が応答したらお話しします

-  (子機の場合は ) を押ししても外線へかけられます。
- この他にも、リダイヤルキー、ワンタッチキー、短縮ダイヤルから電話をかける方法があります。詳しくは、IPstage の操作説明書をご覧ください。

電話を受ける

外線からの電話を受ける

外線着信音が鳴り、外線キーのランプが赤色で点滅します。

- 1 子機を上げます
- 2 点滅している外線キーを押します



- 3 相手とお話しします

※フレキシブルキーの設定方法は、IPstage の操作説明書をご覧ください。

内線からの電話を受ける

内線着信音が鳴ります。

- 1 子機を上げると、相手とお話できます

近くの電話に内線電話がかかっている場合

- 1 子機を上げます
- 2 代理応答キーを押します



※代理応答キーは、フレキシブルキーに割り当てられています。

- 3 相手とお話しします

電話を転送する

外線を保留してから転送する

- 1 相手の方に待っていただくよう伝えます
例) 「電話を転送しますので少しお待ちください」
- 2  (子機の場合は ) を押し、子機を戻します
- 3 転送する人に声をかけます
例) 「××さん。外線○番に△△さんからお電話です」
- 4 声をかけられた人は、受話器を上げ、○番の外線キーを押して応答します

再度電話を取る場合は、○番の外線キーを押すことで、元の相手と通話に戻れます。

ダイヤルで転送する

- 1 相手の方に待っていただくよう伝えます
例) 「電話を転送しますので少しお待ちください」
- 2  (子機の場合は ) を押します
- 3 転送先の内線番号をダイヤルします
※ 転送先が応答しなかったり、話し中の場合は、 (子機の場合は ) を再度押すことにより、元の相手との通話に戻れます。
- 4 転送先が応答したら、電話を転送する旨を伝え、子機を置きます

その他の電話機の主な機能

機能名	機能概要
1 スピーカ受話音量	電話機のスピーカ音量を調節します。
2 キータッチトーン切替	キーを押した時に出る音のオン・オフができます。
3 マイク音量	ハンズフリー通話時のマイク音量を調節します。
4 電話帳	最大 1000 件まで登録できます。電話帳から名前を検索して発信することができます。
5 発信履歴 / 着信履歴	それぞれ 20 件まで保存されます。履歴から電話帳に登録することや、履歴を検索して発信することができます。20 件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。

※ 各機能詳細、および本書に記載されている以外の機能については IPstage の操作説明書を参照してください。

仕様

項目	仕様		
給電方式	親機	センタ給電 ACアダプタ給電 (オプション)	
	子機	リチウムイオン電池 (DC 3.7V)	
無線方式	Bluetooth方式 V1.2 class 1		
通話可能範囲	約 80m (見通し距離)		
連続通話時間	約 5 時間 (満充電時)		
連続待受時間	約 100 時間※ 1		
充電時間	約 8 時間		
設置形態	卓上 / 壁掛け		
環境条件	使用時	温度	5 ~ +35 (°C)
		湿度	20 ~ 85 (%RH)
	保存時	温度	-20 ~ +60 (°C)
		湿度	20 ~ 90 (%RH)
寸法・質量	約 185mm (幅) × 247mm (奥行) × 97mm (高さ) ・ 約 1.1kg		

※ 1: 連続待受時間は、パワーセーブモード設定があり (ON) のときの時間です。ただし、ランプが点灯していないときの状態です。Bluetooth[®] は、Bluetooth SIG, Inc が所有する商標であり、使用許諾契約の下で弊社にライセンスされています。



14

<切り取り線>

保証書

マルチ・キーテレホンR 保証書

この製品をご使用中、取り扱いについての説明書に従った正常なご使用状態で自然故障した場合は、本保証書記載内容、および保証規定 (裏面) により 1 年間無料修理致します。

1. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、取扱店にご依頼ください。
2. 本保証書にお引渡し日、お客様会社名、ご住所、取扱店名、住所が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちに取扱店にお申し出ください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

製品名	マルチ・キーテレホンR	型名	MKT/R-30DKCL
製造番号			
お引渡し日	年 月 日		
保証期間	お引渡しの日より 1 年間 ※ 1		
お客様	ご住所	〒	TEL
	会社名		
	ご担当部門		
取扱店	住所	〒	TEL
	店名		

※ 1: お引渡し日は、新規工事、もしくは増設工事の完了の日付となります。

OKI 沖電気工業株式会社

お問い合わせになる前に

症状	原因と対処
親機のディスプレイに何も表示されない。	電話機コードの抜け、接触不良が考えられます。 確実に入っていることを確認してください。
子機が動作しない。	電池残量が少ないと考えられます。 子機のダイヤル面を下にして親機に置き、子機を充電します。
子機の着信音が鳴らない。	親機から離れすぎていると考えられます。 子機を親機に近づけてください。
子機を親機に置いて、子機の充電ランプが点灯しない。	親機、子機の充電端子が汚れていると考えられます。 充電端子のお手入れをしてください。
子機のディスプレイにアイコン（  など）以外の文字が表示されない。	子機の ^{***}  を押して見やすい表示にさせてください。

お問い合わせ窓口

本書の記述で不明な点がありましたら、IPstage の操作説明書をご覧ください。本装置の運用・保守に関する疑問や質問、あるいは IPstage の操作説明書の記述で不明な箇所がありましたら、本装置を購入されました取扱店までお問い合わせください。

OKI 沖電気工業株式会社



使用済み製品を廃棄する場合は、廃棄物処理法に基づいた処理が必要です。
廃棄・リサイクル処理についてのお問い合わせは、営業または取扱店までご連絡ください。

840BT 073-5 | M

4357060000

15

<切り取り線>

保証規定

- 保証期間内である1年以内に正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、無料にて修理を致します。なお、故障の内容によっては修理にかえ同等品と交換させていただくことがあります。
- 保証期間内に正常なご使用状態で自然故障を生じた場合でも、離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料になりますのでご了承ください。出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - 本保証書に取扱店名、お引渡し日の記入のない場合、あるいは字句を訂正された場合。
 - お引き渡し後の移動、転落等により故障および損傷が発生した場合。移設の場合は、事前に取扱店にご相談ください。
 - 火災、地震、風水害、雷、その他天変地異、塩害、公害や異常電圧等による故障および損傷。
 - 使用上の誤り、当社指定サービス員以外による修理や改造による故障および損傷の場合。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 配管工事、設置工事などの不備による故障および損傷。
 - 付属品などの消耗による交換
- 停電などの外的要因、あるいは本装置の故障、誤動作、不具合によって、通信などの機会を逸したために生じた逸失利益等の金銭的損害につきましては、当社はその責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、取扱店にお問合せください。

年 月 日	修理内容および使用部品	担当者